

キャラクター名
リーゼ・リーネルト

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン ソラリス		ワークス	イギリス軍エージェントC	カヴァー	戦闘員	平時は諜報も
	年齢		21	性別	女性		
オプション	覚醒	犠牲	衝動	嫌悪	初期侵食率	31	%
出自	貧乏	経験	海外生活	邂逅	師匠		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	1		0			1	行動値	2
感覚	1		0			1	(非装備時)	5
精神	2	1	0			3	戦闘移動	10
社会	4		0			4	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	7	3	交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	5	
運転:			芸術:			知識:	2		情報:裏社会	6	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ギフト・トーン	RC	3r+10		15		装甲無視 邪毒付与LV5 侵食率7%
ギフト・トーンII	RC	3r+10		21		装甲無視 邪毒付与LV7 侵食率7%
	RC	8r+22		15		侵食率11
	RC	10r+28		21		同上

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
アルティメイド服		10		-3	RCの判定の達成値に+3

所持品	
コネ: 情報屋	
情報収集チーム	
デモンズシード	

合計装甲: 10 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
起源種	P	N		
復讐者	P	N		
レンヌ・ジーゲルト	P	N	殺意	憎悪
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 18 残り財産P: 15

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
援護の風	5	2	オート	視界	単体	自動		
効果: 判定直前に対象の判定ダイス+LV ラウンド1回								
ウィンドプレス	4	3	オート	視界	単体	自動	リミット	
効果: 判定直前に対象の達成値+(LV×3)								
限界突破	1	3	セット	至近	自身	自動	80	
効果: ラウンド1回のエフェクトを2回まで使用可 シナリオLV回								
ライトスピード	1	5	マイナー	至近	自身	自動	100	
効果: メジャー2回可								
サイレンの魔女	5	5	メジャー	視界	シーン	対決		
効果: 攻撃力+(LV×3) 装甲無視								
流血の孢子	5	2	メジャー	視界	-	対決		
効果: 邪毒付与 LV								
マシラのごとく	3	5	メジャー	-	単体	対決	80	
効果: 攻撃力+(LV×10) ダイス-5個								
オーバードーズ	1	4	メジャー	-	-	-	100	
効果: 組み合わせたエフェクトのレベル+2								
真偽感知	1							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

ドイツの田舎の農村出身。家族四人仲良く暮らしていたが、半覚醒状態にあった彼女の力を欲するヒトラーの使いが訪れ、身柄の引き渡しを要求される。しかし両親はそれを拒否、当然の帰結として襲撃に会い、彼女は全てを奪われ一人だけ助かってしまった。その後、茫然自失としていた所をヴェルナー教授に拾われ、知識を与えられ、そのおかげで大学に入る事が出来たので、彼には感謝してもしきれない。最近は一入立ちすべきと言われて、アパートに引っ越した。

教授の事件が起こったのはその矢先だった・・・

「私の名前はリーゼ・リーネルトよ、親しい人はリリーと呼ぶわ、よろしくね」

「出身はドイツなのだけれど、色々あって今はヴェルナー教授のおかげでオーストリア国籍を頂いているわ」

「少し前からリョーマの所で探偵の助手をやらせていただいているわ、道で拾った時はまさか彼が雇い主になるなんて思ってもみなかったわね」

「探偵の仕事はたまに物騒なものもあるけど結構楽しいわ、大学でのコネで情報集めも捗るしね」

「たまの物騒なお仕事の時はリョーマが前に出てくれるからとても助かっているわ、私に出来るのは私の声が届く範囲に人の神経を犯す事だけだから、前衛のリョーマにはすごく感謝しているの」

「自己紹介は以上ね。そして最後になるけれども、私は教授を殺した奴をに許さない、絶対にこの手で殺してやるわ」